

岡山後楽園の魅力向上について

岡山後楽園では、入園者の増加を図るため、にぎわい創出や特別名勝としての保存整備に取り組んでいる。

このたび、後楽園魅力向上委員会が中間提言を取りまとめ、また、特別名勝岡山後楽園保存管理委員会の助言・指導に基づき「御舟入跡」の整備を行うこととしたので、次のとおり報告する。

1 後楽園魅力向上委員会の中間提言について

後楽園魅力向上委員会では、岡山後楽園の課題への対策について検討を進めてきたが、本年の入園者数が減少傾向にあることを受けて、昨日（12月17日）開催された委員会で中間提言が取りまとめられ、年内に知事あて報告される予定である。

【中間提言の主な内容】

- ① 県と岡山市の定期的な連絡会議を設定し、後楽園と岡山城との連携をより一層強化するための方策や、県・市等が連携し、観光プロモーションを検討すること。
- ② 全国的又は国際的な規模の会議等のレセプション会場として、県・市等が連携してPRする方策を検討すること。
- ③ 既存施設や西外園の有効活用を図り、県内の優れた物産品の情報発信や販売を検討すること。
- ④ 小中高校生、大学生等の来園機会を増やすための新たな制度を検討すること。

2 御舟入跡の整備について

県が平成22年3月に策定した、「特別名勝岡山後楽園整備計画」に基づく発掘調査により、今年6月に「御舟入跡」の全容が確認され、このたび、特別名勝岡山後楽園保存管理委員会の助言・指導を受け、一般公開に向けて整備を進める。

